

グループスーパービジョン様式（記入例） 事例提出者：B型作業所のサービス管理責任者

今回検討したいこと

このところ問題行動が増えているスネ夫さんの支援は、このままで良いか疑問に感じている。本人の事業所での活動があっている部分もあり、あっていない部分もあるのではないかと担当者も感じているようである。どのような工夫があれば良いか検討したい。（サビ管経験年数 1年目）

【事例概要（年代、性別、診断名、現病歴、生育歴・家族歴）】

氏名：スネ夫さん 年齢：29歳 障害名：知的障害 自閉症
 家族：父（61歳） 母（58歳） 兄（別世帯） 両親との三人暮らし
 ADL：自立 コミュニケーション：オウム返しが多く、あまり会話は成り立たない

【サービス導入の経緯】

養護学校卒業と同時に通所を開始している。作業所ではタオルたたみや牛乳パックを張り合わせた椅子の作成、紙すきによるハガキの作成などを行っている。毎日休むことなく通っており、健康で動きも快活である。

【本人の支援ニーズと本サービスにおける支援目標】

作業所は好きなように休むことなく通っている。平日は作業所へ通い、週末は家族と過ごすことで安定した生活となっている。将来はグループホームなどで一人暮らしをして欲しいとの両親の希望はあるものの、今はその段階ではないと考えている。自分の持ち物を他者が勝手に触ったり、決められたカリキュラムの時間がずれると不機嫌になったり、暴力を振るうことなどがあるため注意している。工賃が高い他事業所へのステップアップを図りたいが、問題行動もありうまく進んでいない。

【サービス導入から現在までの支援内容とその結果およびアセスメント】

約10年間毎日、淡々と通っているがこここのところ問題行動が増えて来ており原因もはっきりしない。お昼の食事中にプラスチック製の弁当箱を床に叩きつけ踏み潰してしまう。作業所の送迎車で走行中に内側から後部座席のドアを開けて、降りようとしてしまうなどの突発的な行動が頻回になりつつある。スネ夫さんからはハッキリしたことが聞けず、両親から自宅での様子も聞いてみたが、行動にあまり変化はないとのこと。

作業活動も淡々とこなし、創作活動の時間には、独特な色使いで綺麗な塗り絵を作成したり、1000円程度の戦闘機のプラモデルであれば説明書を読みながら、一人で作成することができるぐらい能力は高い。

ス ト レ ン グ ス	性格・人柄／個人的特性	才能・素質
	几帳面で自分だけの時間へのこだわりがある 体力がある 倹約家	自転車に乗れる
	環境のストレングス	興味・関心／向上心
	住宅街の中に自宅があり、買い物や駅なども近く生活には便利な環境に住んでいる	買い物は好きだが、一人ではさせていない